

各 位

2016年3月10日

公益財団法人 SBI 子ども希望財団

**「子育て支援フォーラム in 宮城  
～子育ての応援とゼロ歳児からの子ども虐待防止を目指して～」  
開催のお知らせ**

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、公益社団法人宮城県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 宮城～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

**「子育て支援フォーラム in 宮城」開催概要**

日時： 平成 28 年 4 月 2 日（土） 14：00～17：00

場所： 仙台サンプラザ

宮城県仙台市宮城野区榴岡 5-11-1

参加費： 無料（先着 250 名）

プログラム概要：

基調講演 : 「わが国の小児保健・医療の課題と健やか親子 21 の果たす役割」  
座長：今村 定臣（日本医師会常任理事）  
講師：五十嵐 隆（国立成育医療研究センター理事長）

シンポジウム : 1 「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」  
. 加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）  
2 「子どもが安心出来る生活を支援するための虐待対応と地域連携」  
. 星野 崇啓（さいたま子どものこころクリニック院長・小児精神科医）  
3 「子育て支援と虐待予防ー小児科医にできることー」（仮題）  
. 川村 和久（かわむらこどもクリニック院長）  
4 「産科医療の現場からーママ達の声に耳をかたむけて」  
. 柿沼 紗都子（佐々木悦子産科婦人科クリニック助産師）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 宮城 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.med.or.jp/people/info/seminar/004226.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、平成 23 年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

## 【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子ども達の福祉向上を目的に 2005 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ： <http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

---

## 【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援フォーラム in 宮城

# 子育ての応援と ゼロ歳児からの 虐待防止を目指して

ひとりじゃないよ。



児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。特に死亡児の低年齢化、中でもゼロ歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。

次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。



イラスト 佐々木理沙 2015年度 オレンジリボン運動 公式ポスターコンテスト SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費無料  
先着250名

日時

平成28年  
4月2日(土)  
14:00-17:00

場所

仙台サンプラザ

※事前のお申し込みで託児施設(定員10名)が  
ご利用いただけます。

主催

公益社団法人日本医師会  
公益財団法人 SBI 子ども希望財団  
公益社団法人宮城県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、宮城県歯科医師会、宮城県薬剤師会、宮城県看護協会、宮城県学校保健会、宮城県小児科医会、宮城県産婦人科医会、宮城県栄養士会、宮城県助産師会、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会(予定)

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

# 子育て支援フォーラム in 宮城 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時:平成28年4月2日(土)

14:00~17:00

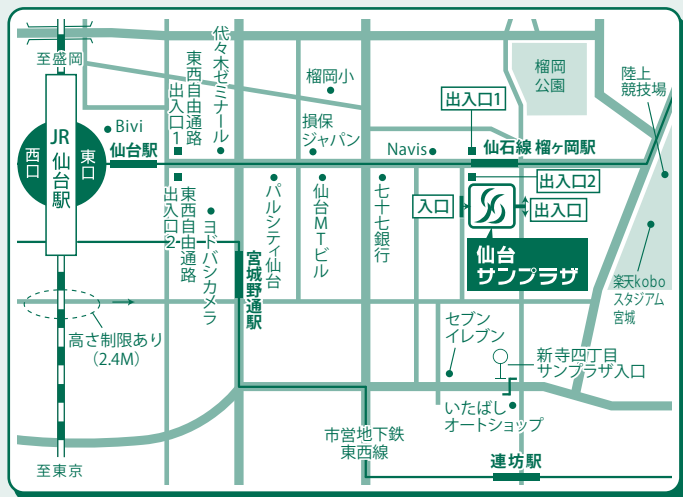
場所:仙台サンプラザ

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-11-1

TEL:022-257-3333

HP:<http://www.sendai-sunplaza.com/access/>

- ◆JR仙石線 榴岡駅下車出入口2すぐ  
(JR仙台駅仙石線のりば9・10番線、松島海岸・石巻方面[各駅停車])
- ◆仙台市営地下鉄東西線 宮城野通駅下車徒歩12分
- ◆仙台市営地下鉄東西線 連坊駅下車徒歩12分



## プログラム

司会:佐々木 悦子(宮城県医師会常任理事)

1. 開 会 ..... 14:00
2. 挨拶 ..... 14:00~14:10  
横倉 義武(日本医師会会長)、嘉数 研二(宮城県医師会会長)
3. 基調講演 ..... 14:10~14:50  
座長:今村 定臣(日本医師会常任理事)  
講師:五十嵐 隆(国立成育医療研究センター理事長)  
「わが国の小児保健・医療の課題と健やか親子21の果たす役割」
4. シンポジウム ..... 14:55~16:35  
座長:奥村 秀定(宮城県医師会常任理事)  
(1)加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長・山梨県立大学人間福祉学部特任教授)  
「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」  
(2)星野 崇啓(さいたま子どものこころクリニック院長・小児精神科医)  
「子どもが安心出来る生活を支援するための虐待対応と地域連携」  
(3)川村 和久(かわむらこどもクリニック院長)  
「子育て支援と虐待予防-小児科医にできること-」(仮題)  
(4)柿沼 紗都子(佐々木悦子産科婦人科クリニック助産師)  
「産科医療の現場から-ママ達の声に耳をかたむけて」
- 討議 ..... 16:35~16:55
5. 閉 会 ..... 16:55~17:00  
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便または FAX にてお申し込みください。

➡ はがき・Eメールによる  
申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1. 郵便番号 2. 住所 3. 氏名  
4. 電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成28年3月25日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は参加  
票の発送をもって代えさせていただきます。(3月中旬から下旬)  
※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵送 〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16  
日本医師会地域医療第3課 子育て支援係行

FAX 03-3946-2684

E-mail [gyakutai@po.med.or.jp](mailto:gyakutai@po.med.or.jp)

HP <http://www.med.or.jp>

お問い合わせ / 03-3942-8181 (日本医師会地域医療第3課)

## 参加申込書

子育て支援フォーラム in 宮城  
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して [平成28年4月2日(土)開催]

住所	〒 -	託児施設のご利用	有・無
氏名	電話番号	託児人数	／ 託児年齢
	FAX	男児	人 / 才
		女児	人 / 才
住所	〒 -	託児施設のご利用	有・無
氏名	電話番号	託児人数	／ 託児年齢
	FAX	男児	人 / 才
		女児	人 / 才

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。  
※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX 送信 03-3946-2684 ↓